

第17回「トイレ川柳」結果発表

—ネオレスト賞(最優秀賞)—

「トイレから 立ち上がるまた 生きていく」

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:清田 徳明)は、第17回「トイレ川柳」の入選作品(ネオレスト賞(最優秀賞)[1句]/優秀賞[9句]/ほっとする・笑える賞[1句]/仲畑貴志賞[3句]/キッズ賞[3句]/中学生・高校生賞[3句]/佳作[20句])を決定しました。

2021年6月21日から8月23日までの期間、トイレにまつわる川柳を募集し、**35,307句**が集まりました。計17回での累計応募総数は**約45万句**になります。

第1回目より「トイレ川柳」の審査員を務め、初代ウォシュレット^{※1}の発売キャンペーン広告「おしりだって、洗ってほしい。」のコピーライター・仲畑貴志氏に選考いただいた結果、ネオレスト賞(最優秀賞)には「**トイレから 立ち上がるまた 生きていく**」が選ばれました。また、日常のほっとした出来事や思わず笑ってしまった出来事をテーマにした句「ほっとする・笑える賞」には「**フタ開いて 後ずさりして 感心す**」が選ばれました。自由な外出が難しい日々の中で、「トイレ」が日常のほっとしたり、安心したり、一人になれる身近な場所として映し出されている句が多く、様々な生活シーンを切り取って豊かに表現されています。

受賞20句(佳作以外)については、**トイレトーパー型川柳集『第17回トイレ川柳大賞』**(予定価格:税込¥350)に掲載し、**2021年11月10日(いいトイレの日)**にTOTO出版より発行予定です。

※1:「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

受賞作品

ネオレスト賞(最優秀賞) …… 1句

()内は雅号(ペンネーム)

賞品:「ネオレスト AH/RH」または「賞金 20万円」

トイレから 立ち上がるまた 生きていく
(だら子)



ほっとする・笑える賞 …… 1句

賞品:「コンフォートウェーブシャワー(樹脂)」

フタ開いて 後ずさりして 感心す
(重田愛子)



仲畑貴志賞 …… 3句

賞品:「TOTOミュージアムオリジナルグッズ」

ノックされ「生きていぞ」と 爺の声 (ハルル)
オレが行く 妻が行くまた オレが行く (まるん)
そのノック 翻訳すれば「早く出て」 (むーむー)



キッズ賞 …… 3句 賞品:「こども商品券」5,000 円分

お父さん いつもお掃除 ありがとう (カッピー)
虹色の 便器があると 楽しいな (かえちゃん)
おじいちゃん 便座は必ず 戻してね (こむぎ)

中学生・高校生賞 …… 3句 賞品:「Amazon ギフト券」5,000 円分

アイデアで カラオケ・図書館 七変化 (桜綾)
便器って 陶器なんだと 今に知り (ともきつず)
卒業式 トイレにも言う「さようなら」(やじるし)

優秀賞 …… 9句 賞品:「携帯ウォシュレット」

ありがたい トイレに行けて トイレある (ばぱりん)
泣き声で おっぱいオムツ 聞き分ける (雲助)
救世主 狭い日本に タンクレス (一番星)
幸せだ トイレがきれい いい天気 (ヒヨコ)
トイレにも 気持ちが出てる 街づくり (毎日が黙曜日)
ここにする トイレで決めた マイホーム (フラワー)
長居した トイレで川柳 十句書き (ブレンディー)
地球儀の ここに今俺 座ってる (やすべえ)
行けるのは ここだけだった 自肅中 (ぴんくの)



佳作 …… 20句 賞品:「QUO カード」1,000 円分

接種終え 安堵のトイレ 忘れない (染乃助)	この場所が うちのオヘソだ トイレット (ふーしゃん)
狭いとこ 好きぢゃないのに トイレ好き (あーちゃん)	トイレまで 追いかけてくる チビ怪獣 (はなちゃん)
スッキリは 人を優しく する魔法 (けいこ)	ハンカチを 貸せない時代 さみしいな (ふーちゃん)
避難場所 トイレで決める おばあちゃん (健康第一)	便器にも 名前をつけて 磨く母 (まゆりよう)
初トイレ 流さずママを 呼ぶ子ども (けんちゃん)	果たし合い 便意もよおし 取り止めに (あまのじゃく)
実況の アナウンサーは いつ行くの? (こうちゃん)	テレワーク たったひとつの 休憩所 (かも)
古くても きれいなトイレは 心地いい (ペン太郎)	お通じを 同時にもよおす 三姉妹 (ガブリエル)
キレイだと トイレ褒められ 今夫婦 (まーこ)	無人駅 誰かがトイレ 磨いてる (かきくけ子)
不思議だな 実家のトイレ 時戻る (ネコネコ)	また来よう 味よし人よし トイレよし (ロマン派)
ふと気付く 推しもトイレに 行くのだと (もちちよ)	円満の 秘訣はトイレ 二個にあり (アーモンドの花)

上記の結果一覧はTOTOウェブサイトでも公開しています。

TOTOウェブサイト: <https://jp.toto.com/senryu/>



* 川柳・雅号(ペンネーム)の表記はすべて、応募者の表記通りです。

* 作品の著作権は、TOTO 株式会社に帰属しています。無断での転載使用はご遠慮ください。

仲畑貴志氏選評

今年の TOTO トイレ川柳は、コロナ禍での心の晴れない日々を少しでも明るくお願い「ほっとする川柳、笑える川柳」をテーマとしました。その、ほっとする笑える賞は重田愛子さんの「フタ開いて後ずさりして感心す」に決定。誰にもある初めての遭遇、初めての体験を表現しています。まず「後ずさり」する。そのしぐさに、思わず笑みを浮かべる。目に浮かぶような所作について、「感心す」と落とすところが絶妙ですね。

最優秀賞は、だら子さんの「トイレから立ち上がるまた生きていく」。健康なリズムでの生活なら、人はみな、日に1度はトイレに腰を下ろします。これ、世界中で、毎日、365日、77億9千5百万人(総務省統計局・世界の統計 2021)がやっている。凄くと思いませんか？ 荘厳ともいえる。そして、みなそれぞれの思いで立ち上がる。明日を、もっと良くしようという前向きな思いで。

自粛という中で、おのずと生活が固くなる時に、何でもいいから表現するといいですよ。絵を描く、粘土をいじる、日記をつづる、もちろん川柳も。とくに川柳は約束事の少ない表現ですから、どなたでも入りやすい。フト脳裏に浮かんだつぶやきを575で表現する。想いを体から吐き出すと、心も体も、ちよいと軽くなるようですよ。



仲畑貴志
コピーライター

1947年京都市生まれ。日本の広告界を代表するコピーライター。代表作に、ウォシュレットの発売キャンペーン広告「おしりだって、洗ってほしい。」や「ココロも満タンに、コスモ石油」など。毎日新聞の人気コーナー「仲畑流万能川柳」の選者としても知られる。

応募者の傾向

今年で17回目を迎えたトイレ川柳は毎年子どもから大人まで、幅広い年代の方から応募があります。年代別では、20～40代は女性、50代以上は男性の応募比率が高く、全体を通して30代女性の割合が一番多くなりました。おかげさまで計17回での累計応募総数は、**約45万句**になりました。

単位：%

年代	男	女	男女計	無回答(性別)	合計
12歳未満	0.4	0.5	0.8	0.0	0.9
13～19	1.4	1.9	3.3	0.2	3.5
20～29	5.0	7.6	12.7	0.3	13.0
30～39	7.3	12.6	19.9	0.4	20.3
40～49	7.0	10.6	17.5	0.3	17.8
50～59	8.1	6.4	14.6	0.3	14.8
60～69	10.2	5.9	16.1	0.3	16.4
70歳以上	11.0	1.9	12.9	0.3	13.2
無回答	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
合計	50.5	47.3	97.8	2.2	100.0

新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030

きれいと快適



環境



人とのつながり



「環境・社会的価値」と「経済価値」を同時に実現する新共通価値創造戦略 TOTO WILL2030では、「きれいと快適」「環境」「人とのつながり」を取り組むべき重要課題「マテリアリティ」として経営とCSRの一体化に取り組み、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも貢献していきます。

<https://jp.toto.com/company/ir/individual/vision/index.htm>